

二 これまでの経緯

教育委員会は、これまで保護者説明会、統合問題懇談会および統合問題推進協議会において中学校の統合方針について次のような説明を行ってきました。

1 学校づくりの視点

統合各学校の伝統や校風を取り入れながら、人間尊重の精神を基盤にして「学力・社会性・個性・安全、安心・連携」を視点にした学校づくりをめざす。

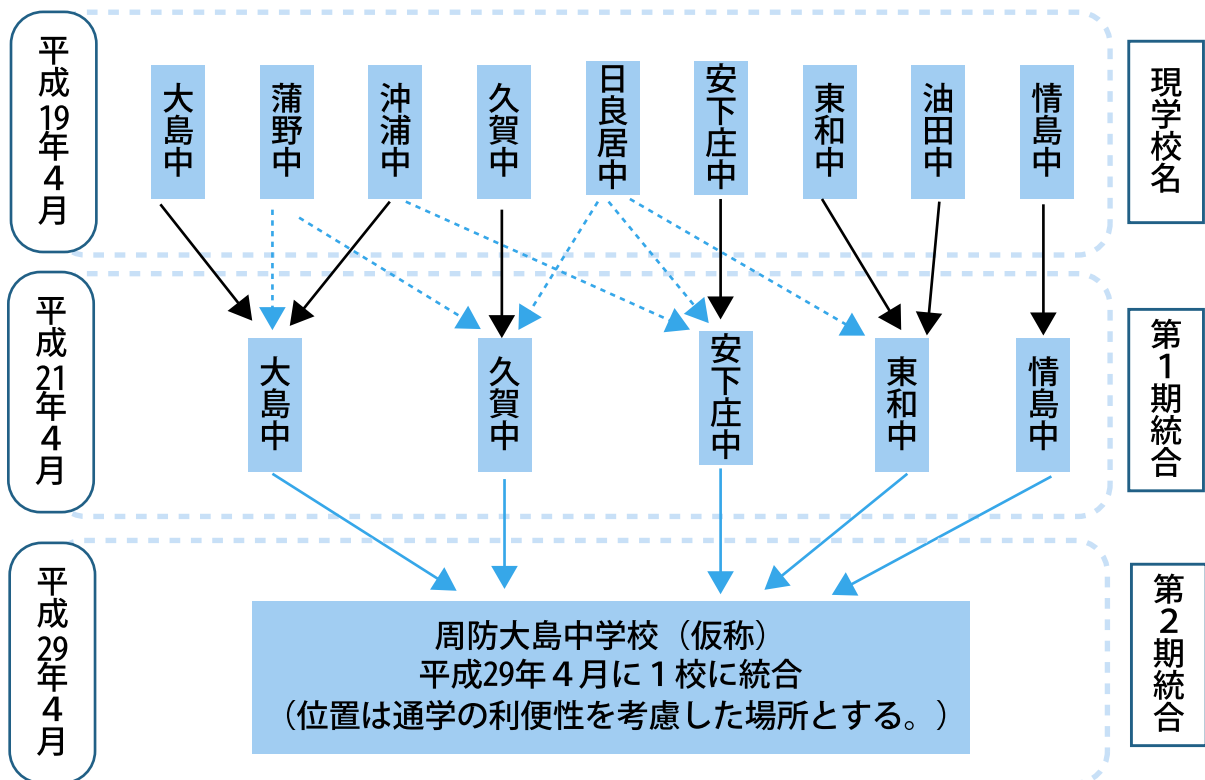
2 統合時期・学校名・通学区域

・蒲野、沖浦、油田、日良居中学校を平成21年3月31日に閉校する。
 ・平成21年4月1日に新しく久賀、大島、東和、安下庄中学校として開校する。

情島中学校については現状のままとする。

・平成29年4月を目標に中学校1校への統合をめざす。(学校の位置は、交通の利便性を考慮した位置にする。)

・旧町の境界にある地域に自由校区を設ける。一度選択した校区は原則3年間変更しない。



※> については、自由校区。

※沖浦中学校から安下庄中学校への自由校区は、家房・出井地区となります。

3 通学方法

スクールバス通学を基本とし、公共バスの併用で対応する。

4 統合校の資料保存

保存物と保存場所について各学校等と協議して進める。

5 跡地利用

校舎、校地の跡地利用は行政および学校関係者や町民の知恵を集約して進める。

6 開校の推進体制

平成19年度からの2年間は、21年4月の開校に向けて、関係者からなる「中学校開校準備委員会」(仮称)を設置して、生徒や保護者の不安を解消し活気のある学校生活を迎えるために教育計画や施設設備等の準備に関する調査研究並びに協議を行い、統合への円滑な推進に取り組む。

また、21年3月末日の蒲野、沖浦、油田、日良居中学校の閉校に向けた準備をする。

7 その他

給食は現在の給食センターから配送する。

